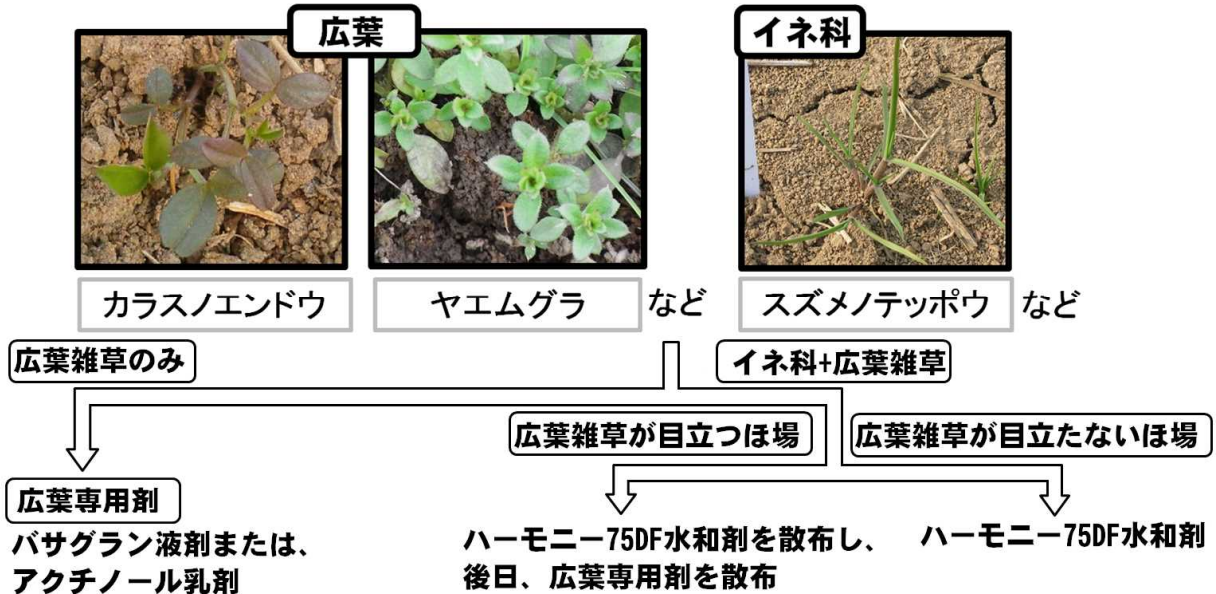




生育期の雑草防除

その1. 草を見て除草剤を選ぼう！

播種後に除草剤をまいても、20～30日たつと効果が切れ始め、雑草が生えるようになります。



薬剤名	使用時期
ハーモニー75DF水和剤	麦1葉期～節間伸長期前 ★スズメノテッポウ5葉期まで その他イネ科雑草2葉期頃まで
バサグラン液剤	麦の生育期 小麦：収穫45日前 裸麦：収穫90日前 ★広葉雑草3～6葉期まで
アクチノール乳剤	穂ばらみ期まで ★広葉雑草生育初期

注) 散布に当たっては必ずラベルの使用方法を確認し、適正使用に努めましょう。

その2. カラスノエンドウには特に注意！

ダメ絶対！ 種子の混入！

麦に混入すると選別が難しいカラスノエンドウ種子は、実需者から強く混入防止を求められています。



カラスノエンドウ種子

対策1 中耕培土の実施

カラスノエンドウ等の雑草を埋没させ、生育を抑制します。
麦4葉期～茎立ち期までに2回実施しましょう。

対策2 カラスノエンドウが残ったら除草剤散布

アクチノール (カラスノエンドウ 3葉期まで) または
バサグラン (カラスノエンドウ 6葉期まで)
に散布しましょう。
※ハーモニーだけでは効果不十分です。



限界のカラスノエンドウ6葉期
(大きさは4～6cm)